

広 報 の み

Nomi City News Letter

3月号

2021 No.194

広報能美



主な
内容

- 新型コロナウイルス感染症に関する大切なお知らせ
- 井出市長 2 期目の抱負
- 令和 3 年の町会・町内会長をお知らせします

写真入り特製九谷焼マグカップが完成しました。
これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、修学旅行をはじめとする学校行事が中止になるなど、様々な影響を受けた市内小中学校卒業生に、ささやかな思い出づくりとして贈られます。

3月は「自殺対策強化月間」です

能美市では、すべての市民が心身ともに健康で暮らせることを目指して、当事者が支援を求めやすい環境づくり・地域づくりに努めています。特にコロナ禍では、不安やイライラ、恐怖、怒り、うつ、不眠など、こころやかからだに様々な変化が起こりやすいと考えられています。もしこころの不調が続く場合は、無理をせず相談機関や医療機関に相談してください。

参加無料

オンライン講演会

「今こそ、うつを知ろう！～精神科医からのメッセージ～」

日時 3月20日(土) 14時～15時(受付13時30分～)

※会場とZoom(オンライン)での参加が可能
※事前申し込みが必要です

会場 健康福祉センター「サンテ」1階検診ホール

会場のみ手話通訳・要約筆記あります

講師 秋山 典子 氏

講師プロフィール

昭和57年近畿大学医学部卒業、昭和58年大阪市立病院研修医を経て、昭和59年医療法人社団澄鈴会栗津神経サナトリウム精神科に勤務し、現在に至る。
昭和61年より、石川県南加賀保健福祉センター嘱託医となり、平成27年より医療法人社団澄鈴会理事長に就任する。

申し込み方法 ▶ **会場** 電話・メール・Faxのいずれかの方法で【必要事項】を添えて、健康推進課へ
▶ **ZOOM** 下記メールアドレスに【必要事項】を記入し送信
※参加決定後にZoomへの参加方法をメールでご案内します

必要事項 氏名、視聴人数(ZOOMの場合)、連絡先、希望の参加方法

定員 会場30名、Zoom配信80回線

締め切り 3月10日(水) ※定員になり次第受付終了

申し込み・問い合わせ 健康推進課 (☎ 58-2235 ☎ 58-6897 ✉ kenko@city.nomi.lg.jp)

こころやすらぐブックフェア こころやすらぎが生まれる本の貸し出しや相談窓口の紹介を行います。詳しくは23ページをご覧ください。

無料 こころの相談ダイヤル 石川県こころの相談ダイヤルは、24時間365日対応しています。ひとりで悩まずお話を聴かせてください。☎ 076-237-2700

感染者等への差別・誹謗中傷は絶対におやめください

新型コロナウイルス感染症は、誰もがかかる可能性がある疾患です。感染された人やその家族、医療従事者などに対する、不当ないじめや差別は決してあってはなりません。感染症に対する不安をおおるような言動や不確かな情報の拡散は慎み、冷静で良識のある対応をお願いします。

▶ **電話相談** みんなの人権110番 (☎ 0570-003-110) 【受付時間】平日8時30分～17時15分

2月に入り、能美市内においても新型コロナウイルスの感染事例が再び増えており、能美市立病院ではクラスター感染が確認されました。また石川県から感染拡大警報が発出されるなど、大変厳しい事態となっております。市民の皆さまには、引き続き、お一人おひとりが「感染しない、広げない」という自覚を持ち、日常生活を過ごされるよう、ご協力をお願いいたします。(2月18日 能美市)

新型コロナワクチン接種推進室を設置しました

市民の皆さまが「近くて安心」にワクチン接種できる体制を整備するため、2月1日付で、健康福祉センター(サンテ)内に新型コロナワクチン接種推進室を設置しました。コールセンターを3月中に開設予定です。連絡先については、広報のみ4月号や市ホームページ等でお知らせします。

▶ **新型コロナワクチンの接種について**

- ・医療従事者等の接種の次に高齢者から順次接種を開始する予定です。
- ・高齢者へのクーポン券(接種券)の送付は3月中旬頃を予定しています(※送付時期は変更となる場合があります)。
- ・接種の開始は、国の動向に準じて行いますので、ご案内までしばらくお待ちください。
- ・接種についての詳細は、広報のみ4月号および市ホームページでお知らせします。

石川県モニタリング指標について

石川県では、感染状況等を継続的に監視し、数値の上昇が認められた場合、県民の皆さまへの警戒の呼びかけや、必要な対策を迅速かつ適切に実施するため、以下のモニタリング指標を設定し、毎日更新しています。

【2月18日現在】**ステージII (感染拡大警報)**

項目	ステージI	ステージII		ステージIII	ステージIV
		感染拡大注意	感染拡大警報		
感染の状況	1 新規感染者数(直近一週間の合計)	27人/週以下	28人/週以上	85人/週以上	171人/週以上
	2 感染経路不明者数(直近一週間の合計)	13人/週以下	14人/週以上	43人/週以上	86人/週以上
医療機関体制への負荷の状況	3 病床使用率	10%未満	10%以上	20%以上	50%以上
	4 重傷者用病床(35床)使用率	10%未満	10%以上	20%以上	50%以上

※「注意報」および「警報」の発出：1または2の指標が、数日間継続して基準を上回った場合、その他の指標も考慮し、総合的に判断
※「注意報」および「警報」の解除：1または2の指標が、数日間継続して基準を下回った場合、その他の指標も考慮し、総合的に判断

LINE公式アカウント「石川県・新型コロナ対策パーソナルサポート」

石川県からの新型コロナウイルス感染症に関する情報を発信するLINEアカウントでは、感染者発生情報や県民・事業者の皆さまへのメッセージなどを配信しています。

友達登録をお願いします



ご登録は二次元コードを読み取るか、LINEアプリから「石川県 コロナ」で検索してください。

井出市長 2期目の抱負

1月24日に告示された能美市長選挙は、同日午後5時に立候補の受け付けを締め切り、その結果、井出敏朗氏が無投票で2期目の当選を果たしました。

2月27日から2期目のスタートを切る井出市長に、これからの抱負について語っていただきました。



スピード感を持って課題を解決

1月24日に告示された市長選挙において、多くの皆さまの多大なご支援のもと2期目の再選を果たすことが出来ましたことに心から感謝申し上げますと同時に、課せられた使命の大きさに身の引き締まる思いです。

今能美市では、新型コロナウイルス感染症対策に加え、校舎や上下水道管など公共施設の老朽化、少子高齢化、自然災害や鳥獣被害など様々な課題が山積しています。また、新型コロナウイルスの影響で今後税収減も予想されることから、変動する財政状況を注視しながら、優先順位を定め、スピード感を持って取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症の対策を強化

新型コロナウイルス感染症対策では、これまでも「安全安心」「家計」「経済」の3本の強化策に取り組んできました。一日も早く終息し、

日常と経済を取り戻すために、引き続き取り組んでいきます。具体的には、ワクチンを安全安心、スムーズに接種していただけるよう準備を進めます。さらに、市立病院にPCR検査機を導入して検査体制の強化を図るとともに、学校・保育園をはじめとする市内公共施設のドアノブなど人の手が多く触れる箇所に抗菌・抗ウイルス加工を施していきます。

7本の政策・事業を移住定住につなげる

2期目に向けた予算編成では、1期目と同様に「子育て・住環境の充実」「産業振興・企業誘致・人財確保」「交流人口の拡大」「教育力の向上」「安全安心のまちづくり」「シニアプロモーション」「行政改革」の7本の政策・事業の全てが「移住定住の促進」につながることを柱とします。ただ、3月に開会する令和3年第1回市議会定例会は、市長選挙の影響から骨格予算となるため、2期目の新しい施策・事業は、6月議会に上程となります。

「したいこと、能美市だったら叶うかも」を 実感できるまちへ

このため具体的に申し上げる段階ではありませんが、概要に触れるとすれば、県内・市内の南北に連なる加賀海浜産業道路・国道8号・加賀産業開発道路、東西を結ぶ能美東西連絡道路、能美根上スマートインターチェンジなどの主要幹線道路、JR能美根上駅・能美ふるさとミュージアム・九谷陶芸村・いしかわ動物園・石川サイエンスパークなどの主要施設や観光資源を最大限に活用したまちづくりを強化していきます。

予算を充てる施設や事業、課題に対しては、現地現場を訪ね、自身の五感でしっかりと確認することにも努め、市職員にも、現地現場主義を促していきます。

市政のさらなる発展を目指して

●企業誘致推進
好調な企業誘致では、ものづくり企業に加え、本社機能を備えた

企業を誘致する戦略的企業誘致にも取り組んできました。働く場所や雇用人数が多くなるだけではなく職種も増えることになり、雇用の量と幅を広げ、人口と税収の増加を目指します。また、誘致・既存企業の人財確保に向け、大都市圏からのU・I・Jターンを促進し、住む場所も必要となることから、空き家・空き地の有効活用を図り、新たな宅地の開発にも取り組んでいきます。福島グランパークの約70%が売却済みとなったことから、次の産業団地の開発も視野に入れていかなくてはならないと考えています。

●デジタル技術の導入

デジタル技術で、危機管理・医療介護・地域共生社会・産業・公共交通・教育・環境・行財政改革など多くの分野に導入していきます。

新しい生活様式では、テレワークやサテライトオフィスが注目を集めており、当地でも、その受け

皿となるよう施設の整備を検討しています。

●にぎわいの創出

2023年の加賀立国12000年を祝い、翌年となる北陸新幹線県内全線開業の効果を最大限に活かせるよう近隣自治体との広域連携を強化し、イベント開催や市内施設の充実など準備を進めていきます。

また、健康増進や競技力の向上を目的に、健康ロードや体育施設のリニューアルを適宜に進め、芸術芸能のイベント開催を工夫して文化の高みを目指します。

●タウンミーティング

三密を回避できる会場やリモートを活用して、市民皆さまと意見を交換する「タウンミーティング」を開催したいと思っています。市政の施策・事業を紹介し、ご意見やご要望を直接教えていただき、ふるさと愛の醸成にもつなげていければと思っています。

市民ファースト・ 現地現場主義

土日祝日を主体に、市内をウォーキングして健康増進に努めています。昨年は、約2万歩、約12kmを歩いた日もあり、季節の移り変わりを楽しみ、道路損傷や倒木などに気付くこともありました。

キャッチコピー「したいこと、能美市だったら叶うかも」が実感できるよう、政治信条である「市民ファースト」「現地現場主義」を貫き、初心を忘れずとことんやります。



当選証書交付式 2月2日、市役所で行われた当選証書交付式では、証書を受け取った井出市長が「今後とも粉骨碎身、能美市政の発展のため取り組みたい」と力強くあいさつしました。